



# 智頭 議会だより

第 174 号 / 令和 8 年 4 月 15 日発行



鳥取県八頭郡智頭町議会



待合室を併用したトイレが完成!

## 智頭の思い出シリーズ.63



2013年にピンク色にリニューアルされる前の恋山形駅

## 今号のラインナップ

- ▲ 令和 8 年 3 月定例会、表紙写真の説明…………… P 2 ~
- ▲ 政策提言…………… P 6
- ▲ 6 人の議員が登壇し一般質問…………… P 8 ~
- ▲ 各常任委員会報告…………… P11 ~
- ▲ 町民の声 (山形地区)…………… P16

# 当初予算を可決

令和8年度

第1回定例会が3月6日から18日まで13日間の会期で行われました。

令和8年度の当初予算案や令和7年度補正予算案、条例案など町長提出の39議案を審議し、一般会計当初予算案を一部修正し、他の議案は原案どおり可決しました。

一般会計	70億5,000万円
特別会計	19億6,879万円
公営企業会計	36億6,355万円

## 付帯意見

令和8年度事業方針に係る政策提言は、人口減少に歯止めがかからない本町の状況に鑑み、特に現時点において重点的に取り組むべきものとして、総意により具体的に5項目に取りまとめたものである。

しかし、令和8年度の当初予算においては、計上されていないもの、減額されているものも見受けられる。

今後、提言に示した政策が実現できるよう最大限の努力をされたい。なお、重要な政策決定のプロセスの説明については、昨年3月の委員長報告にも申し添えたが、智頭町議会基本条例第7条に定めるとおり、十分留意されたい。




## 地元の方の声

利便性が向上し、駅を見に来られる人が増えると思う。最近週末にライダーさんがたくさん来られていて、皆さん喜ばれると思う。




「恋山形駅」の命名者  
大森 剛さん

ありがたい!! 今までトイレを探される方が多かったです。今後は地元としても管理を考えていく必要があると感じている。



酒本 浩さん

地元としては、とても助かる。駅にはやっぱりトイレが必要。



女性の声



恋がかなう駅として訪れる人が多い「恋山形駅」に、待望のトイレが完成し、落成式が行なわれた。

今まで駅にトイレがなく、地元の公民館や個人宅に借りにくる方もあり、トイレの要望が懸案となっていた。

トイレの横に待合室も整備され、更なる賑わいが期待される。

# 農業振興費 (次世代につなげる農業経営基盤整備事業補助金)

## 議員質疑



**Q1** 毎年抽選になっており、支援の拡充を政策提言したが、補助金総額が600万円から1/2の300万円に削減されている。その理由は？



**Q2** 予算が減額されると更に競争率が高くなる。営農意欲を失わせないためという政策提言から逆の方向を向いているのでは？



**Q3** 昨年10月に政策提言を提出している。今回削減を知ったのは定例会の始まる1週間前だった。それまでに政策提言に対する執行部からの説明やすり合わせがあつてしかるべき。再考できないか？

## 執行部答弁



**A1** 個人への支援では農地は守っていけないと判断した。日本型直接支払交付金制度の広域化により、中山間など今まで活動できなかった所ができるようになる。



**A2** 農業委員会とも意見交換しており、各家庭の倉庫に眠っているものも多いと聞いている。新年度調査し、使われてない機械を各地区で共同利用できる仕組みを作っていきたい。



**A3** 長い期間の査定を経て予算編成をした結果を提案した。議員の言われる過程が欠落したことは反省するが、再考は考えていない。

上記の質疑、答弁が行なわれた後、議員間で協議した結果、総額予算は変更せず、町長の予算提案権を侵さない範囲内で議会費の旅費(視察研修費)を50万円減額して「次世代につなげる農業経営基盤整備事業補助金」を50万円増額する予算の組替え修正案を提案し、全会一致で可決した。

小規模農家の営農継続を支援することで、地域農業の維持および発展を図る。(農業機械等の導入支援)

**300万円** → **350万円**

## 若者出会い創出イベント 開催業務委託料

服装や身なり、女性との接し方の事前研修は必要。

議員



男性の声かけ、当日の姿勢は重要。アドバイスする時間は準備する。

執行部



関西圏との交流を目的とした縁結び事業

**26万円**

## 子育て支援センター費



出生率の低下に伴い、利用者が減少している子育て支援センターを旧山郷保育園からちづ保育園に移転する。

**697万4千円**

## 移住定住促進事業



二地域居住者の支援によって関係人口を増やし、まちの課題解決への糸口を探りながら移住者の増加を図る。

**620万円**

## 商工振興費

駅前空洞化対策とはどのようなことを想定しているのか。

相次いで駅前のスーパー、飲食店が撤退している。新年度、今後の取り組みを検討する。

議員



執行部



### CHIPS事業業務委託料

- ・事務局担当
- ・駅前空洞化対策担当

**962万5千円**

## 人事案件

### ●智頭町教育委員会教育長の選任に同意

現在教育長を勤める田中靖氏を引き続き選任することに同意した。



田中 靖氏

### ●人権擁護委員の選任に同意

現在人権擁護委員を勤める藤原一彦氏を引き続き選任することに同意した。

## 条例の制定・一部改正

### ●職員の高齢者部分休業に関する条例の新規制定

「高齢者部分休業制度」は、職員が「60歳」に達した日の属する年度の翌年度の4月1日から取得できるものとし、1週間当たりの通常の勤務時間の2分の1を越えない範囲内において、「1時間」を単位として取得可能とする。

### ●智頭町犯罪被害者等支援条例の一部改正

令和8年4月1日から鳥取県で、「鳥取県犯罪被害者等に対する支援金事業」が開始され、智頭町も参加する。智頭町でも見舞金制度があったが、鳥取県の「鳥取県犯罪被害者等に対する支援金事業」に参加するため、該当条文を削除する。

### ●職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

### ●智頭町介護保険条例の一部改正

（団員定数333人から305人に変更）

## その他の議案

### ●公の施設における指定管理者の指定（旧山形小学校他4議案）

指定の期間令和8年4月1日から令和11年3月31日まで

### ●智頭町過疎地域持続的発展計画の策定

### ●智頭町有林の経営管理の委託

合同会社MANABAYAに委託  
委託期間 令和8年4月1日から

令和9年3月31日まで

### ●町道の路線の認定（戸能線・天木河原線）

### ●町道の路線の変更（天木線）

## 令和7年度 一般会計補正予算

### ～ 主な補正予算 ～

#### 病院施設費

病院事業会計繰り出し金の増（国保特別調整交付金）

増額

234万5千円



補正後の総額 6億4,496万4千円

#### 除雪事業 除雪委託料の増

増額

5,785万8千円



補正後の総額 7,754万4千円

### 3月定例会

減額補正 1億5,939万4千円

決算見込みに基づき、人件費・事業費などの調整

・人件費減額 5,222万5千円  
・事業費減額 1億716万9千円

補正予算額 1億5,939万4千円 減額 補正後の予算総額 70億7,314万8千円

## 令和8年1月 第1回 臨時会

人事院勧告及び国家公務員の給与改定に準拠した職員給与及び諸手当の改定などに伴う経費のほか、物価高騰対策とし、国の交付金を活用した5事業を可決しました。

◆地域経済活性化促進交付金	8,925万円	杉小判 1人15枚 (15,000円)	
◆病院事業会計繰出金	4,350万円	電気代など諸経費の物価高騰に伴う経営支援	
◆物価高対応子育て応援手当	1,240万円	1人2万円	
◆中小企業等事業継続支援交付金	945万円	法人事業者5万円 個人事業者1万円	
◆家計負担激変緩和対策給付金	28万円	一世帯4,000円	

# 令和8年度 事業方針に係る政策提言への回答について



令和6年度に目標であった10棟が完成し、住宅用地として土地のみの分譲、公園など集いの場としての整備、要望次第ではコミュニティ施設の建設予定地としての活用など、その可能性について検討していく。

○若者定住対策の強化について  
 ・ゆめが丘の空き区画の有効利用について

智頭町議会より、令和7年10月16日付で町へ提言した5項目について、次のとおり回答がありました。

智頭町議会より、



・通学環境の見直しと充実について

子どもの減少が今後も考えられるため、状況に応じて見直しを検討する。



○持続可能な農業振興の強化について

・次世代につなげる農業経営基盤整備事業の拡充について

集落座談会の意見等を踏まえ、今後は日本型直接支払交付金制度に係る広域活動組織の設立を契機とした、広域的な支援に転換したいと考えている。

※P3を参照してください。

○共助交通の利便性向上に向けた前日予約導入について

前日予約を導入することにより、他の運行に影響を及ぼす事案の増加が危惧されること、また、予約時間変更の依頼も同様に増加することが想定されることから、対応は厳しいと考えている。



○避難施設の空調設備の更新・新設について

みんなで取り組む防災活動支援事業補助金、地域支

え合い基盤づくり事業補助金など、現行の補助金を活用していただきたいと考えている。

○自主財源の確保に向けたふるさと納税の強化について

令和7年度に寄附額が大幅に増加したところであるが、より魅力ある返礼品の充実を図る。ふるさと寄附額の更なる増加を図るため、令和8年度は前年度予算から5千万円増の8千万円を目標としている。

返礼品！



# 陳情の審査結果

件名	提出者	審査結果
① 農道の町道認定に関する陳情書	河津原部落世話人 黒岩 登 奥西部落世話人 仲井 博司 下西部落世話人 久本 幸広	採 択
② 政府に所得補償(直接支払い)制度の実現を求める陳情	鳥取県農民運動連合会 会長 雑賀 敏之	趣旨採択
③ 大規模太陽光パネルの適正設置と管理に関する条例制定についての陳情書	土師駅前部落 世話人 今倉 淳 及び 土師駅前部落一同 及び 山田部落一同	継続審査

## 【趣旨採択・継続審査の理由】

- ② 願意は理解できるが、国家的に高度な政治判断が求められる内容であるため。
- ③ 町が積極的に条例を整備すべきと考えるが、議会としても継続して調査する。

■ 陳情書は定例会が始まる 10 日前までに提出してください。(土・日・祝日を除く)

TEL : 75-3115

gikai@town.chizu.lg.jp



■ 次回の定例会は 6 月 5 日から開催する予定です。  
詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

# 6人の議員が一般質問に臨みました !!

議員名 / 質問内容	議員名 / 質問内容
<b>大河原 昭洋</b> 1. 大雪による倒木・停電対策の強化について 2. 地域ブランド化戦略について 	<b>西尾 寿樹</b> 1. 急速に進化する生成AIの活用について 2. 小学生・中学生のタブレット端末の活用とSNSに対する対応について 
<b>岡田 光弘</b> 1. 人口減少下での町運営の基本的なビジョンについて 	<b>谷口 雅人</b> 1. 重要文化的景観の活用について 
<b>波多 恵理子</b> 1. 空き家対策について 2. 移住定住対策について 	<b>仲井 莖</b> 1. 智頭町景観条例の改正について 

※一般質問の録画をスマートフォンや自宅のパソコン・IP 告知端末で見ることができます!

■ スマートフォン・パソコンを使って  
検索

智頭町議会録画放送

検索



■ IP 告知端末で視聴

②次ページをタッチする

①ホーム画面 → ②次ページ → ③智頭町議会上記の順番でタッチしてください

「智頭町議会録画放送」の画面が表示されます。



IP 告知端末



大河原 昭洋

### 大雪停電

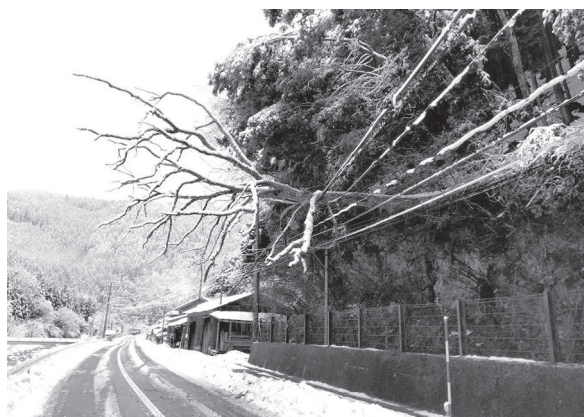
倒木による停電対策強化を

町長／年次計画で進めている

**問** 昨年末の大雪によって倒木を原因とする停電が町内の複数箇所が発生した。現在、町と県、電力、通信事業者の4者によって樹木の事前伐採が行なわれているが、さらに広域的に予防的伐採を加速させる考えは。

**問** 停電発生時、告知端末等でアナウンスは流れるが、復旧見込みの情報も町民に届ける工夫も必要ではないか。

**答 町長** 森林所有者が行なうべきことであるが、対応が困難な場合、承諾を得て町が伐採を発注。予算の範囲内で効果の上がる伐採を行なってはいるが、切った隣接が倒れたりと思うようになっていない現状である。



大雪により電線等に倒れ掛かった樹木（浅見地内）

**答 町長** 停電復旧の見込みが立たない状況の中で、いつ頃という部分は、電力業者も言えない部分もある。町も、分かりませんという情報を発信しても不安を募らせるだけになる。道路の復旧状況や電気が通りましたということが分かったら、速やかに情報提供はしている。



岡田 光弘

### 人口減少

自然減に特化した対策は

町長／持続可能な地域づくりを  
目指す

**問** 未就学児が5年で35%減少するなど自然減が続いている。これを一時的でなく構造的危機と捉え、町としての認識とともに、自然減に特化した対策をより強化すべきではないか。

**答 町長** 高齢化と若年層減少による構造的な問題であり、出生率が回復しても減少は避けがたい。人口減少を前提に、その進行を緩やかにしつつ生活の質の維持が重要。今後、若手職員の提案も踏まえ取り組みを強化する。

**問** 人口減少は経済や地域活動、行政運営に大きな影響を及ぼすと考えるが、どの分野を重視し、将来の住民サービスを維持に向けてどのような備えを進めるのか。

**答 町長** 経済縮小や担い手不足、税収減と福祉費増、地域力低下など幅広い影響が想定される。特定分野の切り捨ては行わず、地域資源の高付加価値化や関係人口の創出、広域連携で対応し、持続可能なまちづくりを進める。



教育の拠点 智頭中学校



波多 恵理子

### 移住定住対策

二地域居住の現状認識は

町長／積極的に取り組んで行く

**問** 移住定住対策として、二地域居住の推進を国も推奨しており、本町でも今年度実証事業を行っていたが、その検証結果も含めた現状認識は。

**答** 町長 実証事業については、一定の条件が課されていたため伸びなかったのではと推測するが、関係人口や担い手の確保、空き家問題の解決、そして地域経済の循環を促すためにも、二地域居住については積極的に取り組んで行きたい。

**問** 二地域居住コーディネーター専任1名と兼任3名の配置の目的と目指すべき効果は。

**答** 町長 専任者には町の歴史や背景、地域ごとの特性、現状などを伝えてもらい、二拠点生



ゆきみつはじめ  
イヌ・ネコカフェ オープン予定の行光基さん

活にマッチするか、移住定住につながる可能性があるかなどの判断・調整をしてもらいたい。

兼任者には空き家情報の提供や利活用に関する相談、対応や地域コミュニティとの橋渡し、企業相談対応を担当していただくなどして町づくりにつなげていきたい。



西尾 寿樹

### 教育情報

進化する情報社会への対応は

教育長／子どもたちを守り  
充実させる

**問** 小・中学生の家庭内でのタブレット端末やSNSの活用について、保護者の責任として端末の使用同意確認書があるが、8項目に「家族内での食事の時間に全員が端末の電源を切る」などの文言を追加してはと思うが。

**答** 教育長 見直して行く必要はあるが、状況に応じて考えて行く、参考にする。

**問** 自治体の情報セキュリティとは違い、教育情報セキュリティは教職員や児童生徒の守られるべき情報資産に触れることから、国が情報セキュリティポリシーのガイドラインを定めることを求めているが、全国では5割にとどまっている。



タブレット端末

智頭町教育委員会として、教育情報セキュリティポリシーのガイドラインの策定について検討はされているのか。

**答** 教育長 現在、教育情報セキュリティポリシーのガイドラインについての作成に向けて検討を行っている。



谷口 雅人

重要文化的景観

林業景観は国のお墨つき

町長／来訪者の長期滞在に期待

問 国選定重要文化的景観「智頭の林業景観」は選定から8周年を迎えるがその効用が十分に引き継がれているとは言い難い。いま一度町内外にアピールをし、町の活性化に資する必要性を感じるがどうか。

答 教育長 選定後、広報などで情報提供は行ってきたが、町民の多くの方に浸透はしていないと感じる。背景にある歴史・伝統・文化の大きな価値を広く知っていただくための広報活動を行っていききたい。

問 同時に選定された東京都葛飾区柴又の取り組みは大いに参考になると思うが。

答 教育長 観光資源の一つにも使えるような価値のある保存、

それに広報も含めやっていきたい。

問 智頭林業をしっかりとアピールし、定着させることは、滞在型・体験交流型交流人口は拡大すると考えるがどうか。

答 町長 生業を一体的に体験できるプログラムの造成や個々の磨き上げは、来訪者の長期滞在につながる可能性が高いと期待する。



同時に選定された「葛飾柴又」



仲井 莖

景観条例

条例の改正が必要ではないか

町長／バランスを考慮し検討

問 土師地区において計画されている太陽光発電事業に対して、強引に工事が進められようとしている。

答 町長 基本的には、現行の法律や条例に基づき対応するというスタンスは変わっていないが、再生エネルギー推進のバランスを考慮しつつ、国や県の法令の運用状況や、類いの団体や自治体の実例などを参考にしながら、これからの対応について検討していく。

問 智頭町景観計画において、おおむね5年ごとに見直しを行うことになっているが、その中に太陽光施設に関する明記してはどうか。



奥西集落からの景観

答 町長 持続可能な再生エネルギーという位置づけの中で、考えるのか考えないのか、智頭町の皆さんの声を前提にして、計画を再度考えたい。

# 総務常任委員会の報告

報告者：谷口翔馬委員長

副委員長：波多 委員：古田、田中、大河原、安道

1/20

## 月例委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

### 主な質疑

**Q** 今年度は、重たい大雪で倒木による停電が町内各地で発生した。本町では、県、中国電力、N-TT西日本と連携をとり、危険木の事前伐採を行っているが、停電等ないようにしていただきたい。

**A** 事前伐採について、危険なところを春から見て回り、優先順位を付けて伐採を行っている。危険木や電線の断線につながる恐れがあるところは切っていくきたい。

**Q** 年末に町道本折線の水道管が破裂して、修繕を完了したと報告があったが、年末年始の寒波で漏水など、どれくらい発生したのか。

**A** 簡易水道の関係で、南方で寒波の影響が老朽化が不明だが、1件漏水があり先日修繕が完了した状況である。



2/17

## 月例委員会

### 主な質疑

**Q** CHIPs 事業について、通過案件として2件が通ったが、どういった形で本町に貢献していただくのか。

**A** 木の香りプロジェクトは、森林セラピーのアロマ関係など実際に抽出できるかどうかをやっている。今後はどこに売っていくのかという所も大きな課題になる。駅前飲食プロジェクトでは、地域おこし協力隊や地域のコーディネーターなどを絡めてどういう展開していくのか模索していきたい。



令和7年度CHIPs オーディション通過者と関係者

**Q** 物価高騰対策として、杉小判が配布された。地元経済の活性化ということは十分理解できるが、使用できる店舗を考えると、駅前のスーパーも無くなり、飲食店も辞められたところもある。年々高齢化も進んでいて、食料品といったら毎日のことなので町民の利便性を考えると、駅前のスーパーを使えるようにすることも必要ではないかと感じている。使用できない店舗の見直しの考えは。

**A** 様々な検討はしたが、地域経済の活性化をあわせて推進することも考慮して、駅前のスーパー等の使用は今回もできない。

3/13

## 月例委員会

### 主な質疑

**Q** 子育て支援センターがちづ保育園に移るということで、旧山郷保育園の跡地を今後どう考えているのか。

**A** 検討することにはなるが、前にある公民館等の老朽化も進んでいるので、今使っていない施設全体で考えることになる。

1/13

### 月例委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

**Q** 健康と暮らしの調査について回答率59%も回答があった。貴重な資料になると思うが、この結果をどう活かしていくのか。

**A** 健康と暮らしを考える調査は、何年も継続している調査であり、いろいろな形に活かしていきたい。

**Q** 警報が発令され、町内でもインフルエンザが増えているが、新型コロナウイルスがこれに併せて減っているということはあるか。

**A** 特徴的にコロナが減ったということはないようだが、コロナはポツリポツリと感染者が出ているということが続いている状態である。

2/10

### 月例委員会

**Q** 緊急銃猟について、市街地で猟銃を使用することに対して猟友会の方から何か意

見や要望は出ているのか。

**A** 市街地で鉄砲を撃つということに対しては、猟友会も不安があるということでは聞いている。どういふふうにしていけば安全を確保できるのかという所を、警察や消防とも連携をしながらこのたびマニュアルを策定した。



**Q** 智頭病院経営強化プランの目標値、入院患者数、老健の入所者数が徐々に増えていくという計画だと思うが、現状を踏まえて、プランの修正をどこかで図らなければならないのではないか。

**A** 令和6年までは経営強化プランの患者数はほぼクリアしてきた。令和7年単年での落ち込みであればよいと思うが、今後もこの傾向が続くようであれば、見直しも必要となってくると思う。

**Q** 智頭町米ブランド力向上について、従来から源流米があるが、それとはどう違うか。

**A** 源流米だちのように生産から流通まで道筋ができているものを活用し、卸業者やJAと連携しながら更なるブランド力向上を進めたい。

3/12

### 月例委員会

**Q** 水路の維持管理は、受益者の共同作業で行っていたが、少数の農家で維持するのは難しいのが現実である。現状を踏まえた上で政策を考えていただきたい。

**A** 日本型直接支払制度の広域化を図りたい。これまでできなかったことができるようになると思う。



2/10

## 智頭町農業委員会との意見交換会

智頭町の実情を踏まえた農地保全・農業振興

営農組織の育成・農業後継者の確保について

令和7年10月29日付で農業委員会から町及び町議会へ提出された「智頭町農地利用最適化推進施策に関する意見書」の項目に基づき意見交換を行った。

近年の遊休農地や耕作放棄地の拡大は単なる農業の問題ではなく、集落機能の維持や、ひいては町の存続にもかかわる重要な事項になっている。

担い手不足と農地の維持管理という構造的課題に直面しており、農業者が減少した今日において、水路の維持管理を今後どのように図っていくかは、農業者のみならず、地域全体あるいは町全体で考えていかなければならない。水路の維持については、水系を共有する集落の壁を越えて集落間の協力関係を築く必要を感じた。

小規模ながらも頑張る個人農業者を支援するため、本年度協議し、試行を開始した智頭町複業共同組合等の法人が受け皿となることを見据えた活動への支援を



総合センター2階 情報交流室

行うなど、個人・法人が両輪となり農地の維持を促進していく取り組みが始まった。この事業が諸問題を解決して発展継続していくことを望むばかりである。

## 同和問題調査特別委員会研修会

■ 期 日 令和8年1月20日

■ 場 所 智頭町役場3階委員会室

■ 内 容 「鳥取県のモニタリング、ネット上の人権侵害について 現状と課題」

■ 講 師

鳥取県人権尊重推進局 係長 荒砂 茂徳氏

■ 参加者 全委員10名

■ 所 感

インターネットに関する同和問題に関する人権侵害事件は、過去5年で2倍と増加傾向であり、侵害事件数の内プロバイダー等への削除依頼件数は全体の37%と低い水準である。鳥取県では令和3年からネットモニタリングを運用して成果が上がっている。

差別や偏見に基づく一連の行為は、人格や尊厳を傷つけるものであり、決して許されない。一人ひとりがインターネット上で起こりうる人権侵害について理解を深め、ルールやモラルを守って利用することの重要性を再認識した。



# 議会広報広聴常任委員会の報告

報告者：仲井莖委員長  
副委員長：岡田 委員：古田、西尾、波多、大河原、谷口雅、安道

議会だより173号に関する  
**議会広報モニターからのご意見を紹介**

## 【議会だよりの編集に関するコメント】

全体の構成（見やすさ・記事量など）に関する意見

『よい』が14名、『普通』2名

・特に表紙の今現在と過去の写真の比較が気に入って内容を見たくなる気にさせます。（第150号からカラー写真に）裏表紙の今回の町民の声（若人の声）は大変良かった。

わかりにくい言葉、説明が必要な内容に関する意見

## ●5ページ

Q 智頭町森林組合管理の林道〇〇線の管理移管についてというのは誰がどこに管理を移管するのかわからなかった。

A 管理移管については、現在智頭町森林組合が管理している林道を智頭町の管理に移管するという意味です。

Q 「マクロ経済スライド」とは何ですか？

A 少子高齢化が進む中で公的年金制度の持続可能性を確保するため、物価や資金の変動に合わせて年金額を改定する際、現役世代の加入者減少や平均寿命の伸びを反映させて、年金の給付水準を自動的に少しずつ引き下げる（伸びを抑える）仕組みです。

## ●6ページ

Q 「8050問題」の説明があると良いのでは？と思いました。

A 現代日本が抱える非常に繊細な社会課題であり、80代の親が50代のバブル崩壊後の就職氷河期を経験し、社会復帰の機会を逸した子を年金で支えるものの、自身の介護が必要となったり、病に倒れたりするリスクのことです。

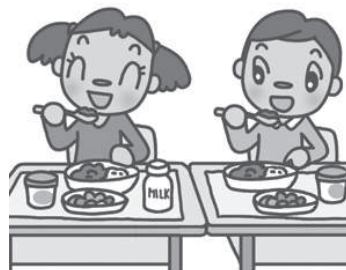
Q 題目のEBPM（エビデンス・ベース・ポリシー・メイキング）は説明がない？

A EBPMとは、行政の施策において、「経験や勘」ではなく、客観的なデータや証拠（エビデンス）に基づいて政策決定・評価する手法のことです。国や県など規模の大きな組織では導入が進んでいますが、規模の小さい自治体では導入はまだ途上の段階にあります。

## 【町政全般・議会活動に関するコメント】

・学校給食の予算が掲載されていて、いろいろな人に支えられて、毎日おいしい給食が食べられているのだと再認識できました。

・智頭病院についての意見と回答が掲載されていて、改めて智頭病院が住民にとっていかに大切な場所なのかが伝わってきた。



## 【その他に関する意見】

・議会だよりを見ると議員さんなど様々な人が私たちのために頑張ってくださっていることが伝わってきます。本当にありがとうございます。

・本当に人口減を感じることが多いです。30〜40代など若い方が智頭町のための活動をしやすいようなことがあるといい。

※モニターさんの意見は原文のまま掲載しています。

## 鳥取県町村議会議員研修会

■ 研修日 令和7年11月28日（金）

■ 場所 湯梨浜町「ハワイアロハホール」

■ 演題

①「地方議員のなり手不足の背景を考える  
議員報酬・議員定数も意識して」

②「住民と地域が期待し、求められる議会とは何か。『データに基づく現状と課題から考える』」

■ 講師

① 拓殖大学政経学部教授 河村 和徳 氏

② 一般社団法人地方公共団体政策支援機構

上席研究員 渡辺 太樹 氏

■ 参加者 議員9名

■ 所感

① 改革が求められている地方議会として、総与党化の広がりとならない議員提案条例、議会の品位をめぐる論争などメディアを騒がせた問題、地方議会のなり手不足問題などが提起された。

今、求められる議会とは、多くの声を聴くことができる開かれた議会、御用閣



きでなく政策に強い議会、危機下でも機能を守る議会であり、これらが議会に対する信頼を高める要素となる。住民の声を拾っているかどうか再確認した。

② 住民が求め、期待される地方議会は町民福祉の向上と町政発展のため、町民の意見を最大限に反映させる義務がある。

現状を正しく把握するには「EBPM（Eビデンス・ベース・ポリシー・メイキング）を活用し、実際の数値で比較検討を行うことで、政策テーマや質問すべき課題が浮き彫りになることを学ぶことができた。

## 奈義町議会議員との交流会

■ 期日 令和8年1月27日（火）

■ 場所 智頭町総合センター情報交流室

■ 参加者 全議員10名

■ 内容 智頭町・奈義町議会議員意見交換会

■ 所感

議会・議員活動のあり方、議員なり手不足への取り組み、議員報酬のあり方について、奈義町議員の方から多くの質問をいただき、活発な意見交換会となった。



## タブレット研修

議会改革の一環として、議会資料の省力化と議会審議の効率化に向けて進めてきたタブレット端末の導入を6月定例会より本格運用を開始する運びとなった。

導入に先立ち、2月19日に研修を行った。



総合センター2階 情報交流室

## 自治功労賞

町村議会議員として21年以上在職し、地方自治の振興発展に寄与貢献し、功労のあった者として、谷口雅人議員が鳥取県町村議会議長会長から表彰された。





# 町民の声



## 智頭の山人塾の活動

山本 福壽 さん（智頭の山人塾・塾長、山形地区）

智頭の山人塾は平成二十八年の発足以来、十周年を迎えることとなりました。智頭町およびご協力いただいた方々に篤く御礼申し上げます。今後も林業を核とする智頭町の産業と生活文化の向上に塾は一層の貢献をしていくつもりです。

### 智頭から全国に発信

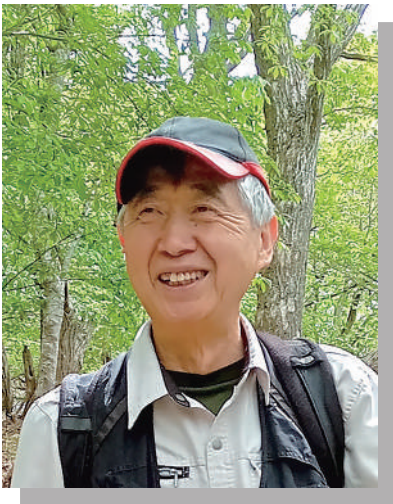
塾の活動は基本的には旧山形小学校を拠点としていますが、昨今、屋内の講座はちえの森ちづ図書館で行っております。またオンラインを用いた夜の講座・森林と樹木のサイエンスシリーズでは、令和七年度も八月以降六回、北海道大名誉教授、京都府立大名誉教授、新潟大名誉教授などの著名な六名の森林・林業研究者の方々にご講演をいただきました。また視聴していただいた方々も全国的です。これにより智頭から全

国に向けて森林・林業に関する最先端の情報を提供し続けています。

### 実践的講座も充実

塾の発足当初からの山菜、薬草、樹木、昆虫、キノコ、スノーシュー活動などの野外学習、図書館での薪割り体験などの実践的な講座もますます充実した内容で継続しています。また森のようちえん、智頭小学校、岩美町の小学校、智頭農林高校などの森林・林業に関する教育活動にも協力してきました。

さらに地域への出前講座



山本 福壽さん

として、令和七年度は山形地区の方々に自然、林業、歴史、文化などに関する地域に根差したテーマで七回のボランティア・セミナーを開催しました。

以上のように塾は智頭町内での実践講座はもとより、全国に向けて、森林環境の保全、智頭林業の重要性、智頭の歴史と伝統文化などについての情報発信を行っております。これからも智頭の山人塾は活発な活動を続けて参りますので、ご支援、ご協力、そして講座等へのご参加をお願い申し上げます。



### 編集後記

3月定例会で、令和8年度一般会計予算案等47議案を審議し一部修正案を提出しましたが、他は全会一致で可決しました。

新年度が始まり、今まで以上に町民の皆様の声に耳を傾けるため、広聴活動に力を入れることとし、10年を経過したモニター制度は、一定の成果を見た判断して、今号をもって当分の間休止とさせていただきます。今までモニターとして議会だよりに貴重なご意見をくださった皆様、誠にありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

今後もさらに町民の皆様により添える議会だよりをめざしてまいりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。（波多）

編集 広報広聴常任委員会

委員長 仲井 莖

以下議員全員

発行責任者 議長 安道 泰治